

Ⅲ 患者の受療動向

(1) 2次医療圏

2次医療圏は、医療法に規定する区域として、地理的条件や日常生活の需要の充足状況、交通事情など地域の生活行動の実態等を踏まえた社会的背景を考慮し、特殊または高度専門医療に属する部分を除く入院までの一般的医療について完結的に提供される地域です。

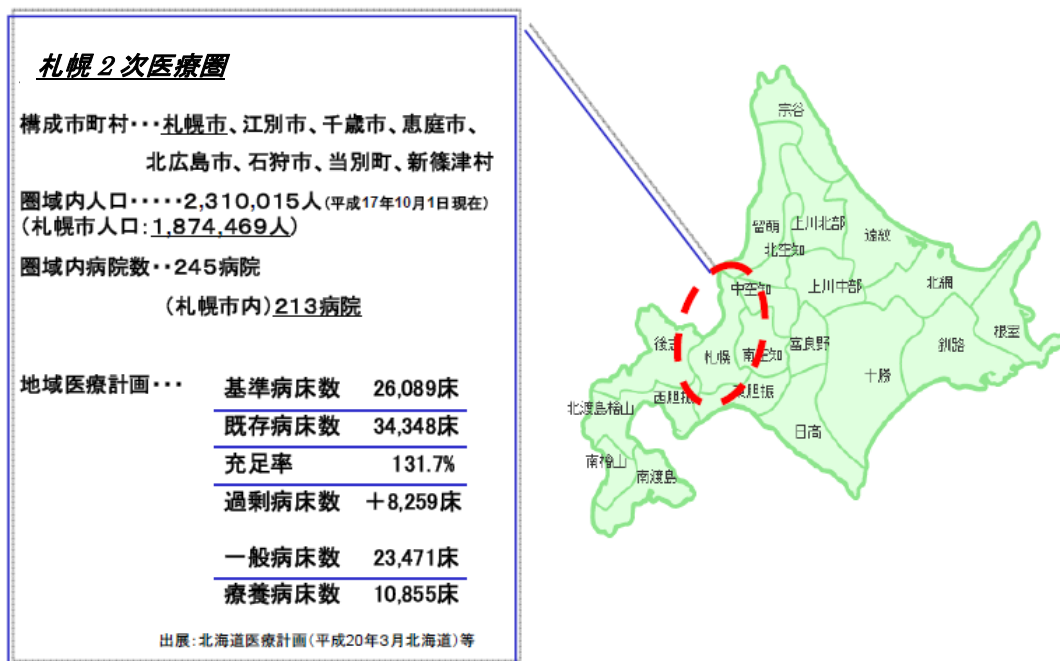
具体的な区域設定は、各都道府県が策定する医療計画において定められており、北海道が平成20年3月に策定した「北海道医療計画」では、千歳市は恵庭市などとともに全道21圏域のうち「札幌2次医療圏」に属しています。

なお、日常生活の中で提供される基本的な医療サービスを主とする市町村単位の区域を1次医療圏といいます。

当圏域の人口は、平成17年国勢調査において北海道総人口の約40%を占める231万人となっており、政令指定都市である札幌市を中心とした大都市圏を形成し、北海道全体の人口が平成12年から減少しているなか、当圏域においては伸び率は低くなるものの平成27年までは増加し、平成32年以降は徐々に減少していくものと予想されます。

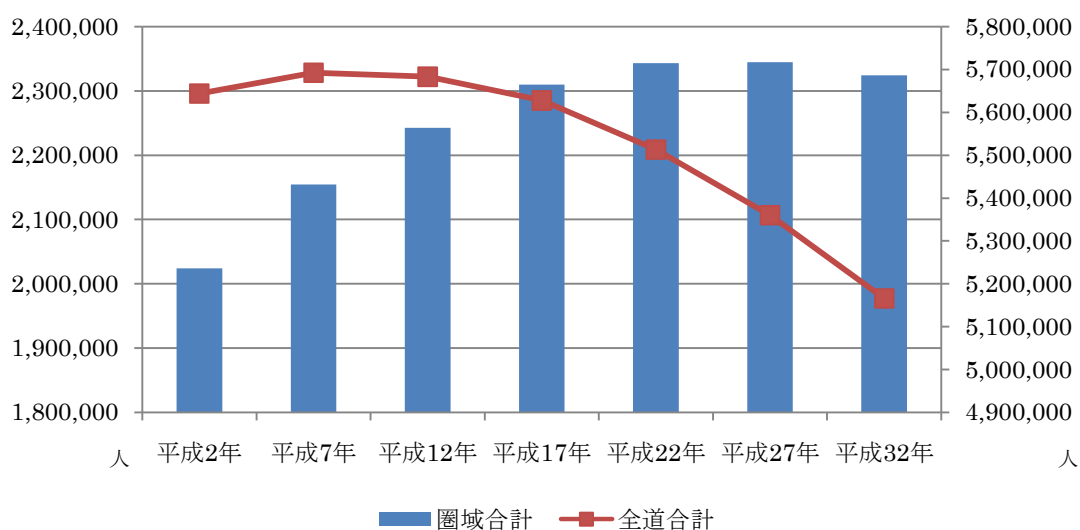
また、当圏域の平成19年12月1日現在の既存病床数は34,348床で、医療法に基づく基準病床数26,089床を超過している状況にあります。その多くは札幌市に集中しています。

なお、当圏域には、市立札幌病院（一般810床・精神162床）、江別市立病院（一般278床・精神59床）、市立千歳市民病院（一般190床）の3つの自治体病院があります。



*札幌市営企業調査審議会病院部会資料

<人口推移>



(単位：人)

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年
圏域合計	2,024,041	2,154,646	2,242,564	2,310,015	2,343,179	2,344,560	2,324,330
全道合計	5,643,647	5,692,321	5,683,062	5,627,737	5,513,158	5,359,697	5,165,785

*平成 2～17 年は国勢調査

*平成 22～32 年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」を活用

(2) 札幌 2 次医療圏の患者受療動向

「国民健康保険患者受療動向調査（平成 18 年 5 月診療分）」による当圏域内における患者動向は、入院では江別市、千歳市、恵庭市を除いた自治体で札幌市への受療率が地元医療機関への受療率を上回っており、圏域全体として札幌市への依存度が高くなっています。

外来においては、札幌市への依存度は高いものの、各自治体とも地元医療機関への受療率が札幌市への受療率を上回っており、地元の医療機関で診療を完結する傾向にあります。

千歳市民が千歳市内の医療機関に入院する割合いわゆる千歳市の入院自給率は 69.6%で、市外への流出は札幌市が 15.3%、次いで恵庭市が 8.9%となっています。

また、同様に外来自給率は 84.4%で、市外への流出は札幌市が 7.4%、恵庭市が 6.0%となっています。一方、他の自治体から千歳市への患者の流入は、恵庭市が入院で 5.7%、外来で 4.0%となっています。

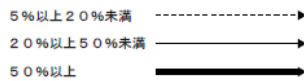
以上のことから、千歳市においては、入院、外来に関わらず市内医療機関において診療を完結している場合が多いものの、札幌市、恵庭市とも一定のつながりがあるといえます。

ただし、札幌市については、医療機関が集中しており、重篤救急患者の救命医療を担う 3 次救急医療を 24 時間 365 日体制で行う救命救急センターをはじめ、高度で専門的な医療を行う医療機関があることなどから、当圏域内だけでなく道内の多くの市町村とつながりがあると考えられます。

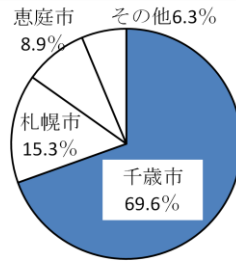
<入院>

(単位：%)

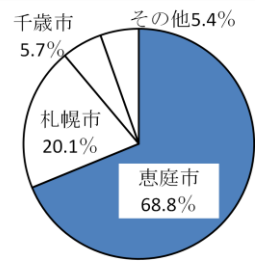
	札幌市	江別市	石狩市	当別町	新篠津村	千歳市	恵庭市	北広島市	その他
札幌市	96.4								3.6
江別市	42.9	48.8							8.3
石狩市	61.0		34.2						4.8
当別町	68.4	13.2	2.0	14.0					2.4
新篠津村	30.1	15.1			12.3				42.5
千歳市	15.3					69.6	8.9	1.1	5.1
恵庭市	20.1					5.7	68.8	2.6	2.8
北広島市	54.1					0.9	9.7	32.2	3.1



千歳市 1,061人



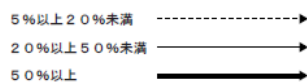
恵庭市 740人



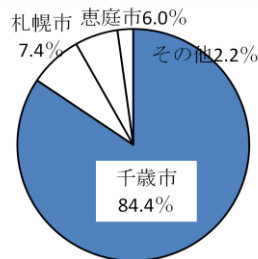
<外来>

(単位：%)

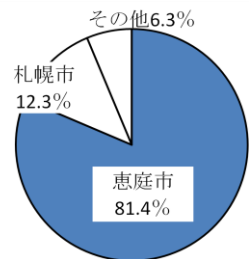
	札幌市	江別市	石狩市	当別町	新篠津村	千歳市	恵庭市	北広島市	その他
札幌市	98.8								1.2
江別市	21.2	77.3							1.5
石狩市	42.2		55.1	0.7					2.0
当別町	41.4	11.5	0.6	44.7					1.8
新篠津村	12.5	21.9		3.9	26.1				35.6
千歳市	7.4					84.4	6.0		2.2
恵庭市	12.3					4.0	81.4	1.1	1.2
北広島市	42.8	0.3				0.2	3.7	52.1	0.9



千歳市 19,371人



恵庭市 15,081人



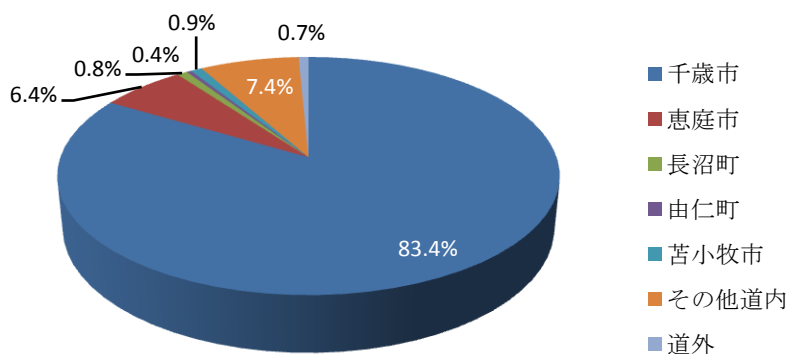
*国民健康保険患者受療動向調査(平成18年5月診療分)より

(3) 市民病院の地域別患者構成

平成 19 年度における市民病院の地域別患者構成は、入院・外来とも 80%以上が千歳市内からの受診となっています。

千歳市と恵庭市の合計では、入院が 89.8%、外来が 93.4%となっており、この 2 市で市民病院の患者のほとんどを占めています。

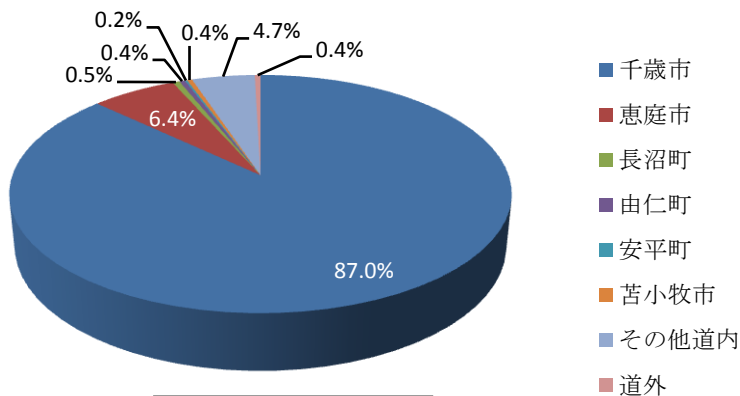
<入院>



患者総数 59,548 人

千歳市	83.4%
恵庭市	6.4%
長沼町	0.8%
由仁町	0.4%
苫小牧市	0.9%
その他道内	7.4%
道外	0.7%

<外来>



患者総数 172,446 人

千歳市	87.0%
恵庭市	6.4%
長沼町	0.5%
由仁町	0.4%
安平町	0.2%
苫小牧市	0.4%
その他道内	4.7%
道外	0.4%

(4) 市民病院の患者受療区域

札幌 2 次医療圏における患者の受療動向や市民病院を受診している患者の地域別の状況から、千歳市と恵庭市は密接に関係していると考えられます。このことから、千歳・恵庭圏を市民病院の患者受療区域とし、本改革プランにおける市民病院の役割や実施計画の検討を行いました。